

「わたしの1(ワン)action」

期間 2024. 4.15(月)～5月10日(金)

世界を取り巻く貧困問題は私たちの暮らす国、日本でも貧困問題は非常に深刻な問題となっています。

入学式に学生服を購入できず登校できなかった家庭、シューズの先が破れていても新しいものを買えずそのまま履き続ける生徒の事例が実際にこの高松で起こっています。

支援にはボランティアや寄付などがありますが今回 学生の皆さんと未来のこどもたちに向け一緒に取り組みたいプロジェクトは
不要になった学生服を集め全国のこども支援団体の活動費につなげよう！です。

不要になった学生服をとことん再利用することは貧困問題だけでなく環境問題にも寄与しそして地域の高齢者や障害者就労支援施設の利用者さんのお仕事へもつながっています。

ぜひ回収ボックスを活用し
皆様の力でこの輪を広げてほしいと願います。

回収の流れ

①学生服と学校名を書いたメモ用紙を袋に入れてもってくる

②回収ボックス
(マロンポスター)に入れる

回収後の再利用と地域循環

①さくらや高松店
(再利用)後輩たちへバトンタッチ
物価高騰の中学生服の値上がりも家計にとってピンチ！
(仕事の循環)障害者就労支援施設へ洗濯、高齢者や外国人に刺繍取りの仕事になる！
(職場体験)特別支援クラスの生徒対象に学生服のお手入れなど社会体験の場所に！
(高松市社会福祉協議会)困窮家庭支援のために連携

②リユースできない生地は
Haggis work shop 環境教育(学校や企業)
・Haggis ハタキ(新聞紙必要)
・Haggis 手裏剣(ミシン必要)
・Haggis フラワーケーキ(ダンボール、梱包についてくる紙必要)

③それでも使用できない生地は
ウエスにカットし油汚れが多く出る工場などに活用してもらう

③その他
・Reランドセル無料譲渡会開催

さくらや馬場加奈子活動
・NPO法人学生服リユース協会理事
・総務省地域力創造アドバイザー
・吉本興業文化人所属

さくらや協働事業
・東京都中央区学生服リユース運営受託
・世田谷区千歳台リサイクルセンター
・小田急scディプロップメント Reborn
・伊藤忠商事 学校生活
・こども家庭庁 こどもの未来応援国民運動
他



Sakurayaya